

## 鮎 2020 釣行記

2020年7月4日～6日 ー小国川ー

# 釣行記

\* 下線付き文字をクリックするとリンク先に飛びます

ホームグラウンドの小国川もようやく鮎釣りが解禁となりました。解禁日に行ったEさんの話では、鮎はギラギラ！お葬式ができて早上がりだったにも関わらず結構な数を釣ったとのこと。[私の鮎遡上に関する考察](#)でも今年が良いはず。これは行くしかない！！解禁から天気予報と睨めっこの日々。当初は家族旅行を兼ねてとも思ったのですが、まだ、コロナが心配なので上さんはキャンセル。そこで、釣友のSさんを誘うと二つ返事でOKとのこと。直前まで思案した結果、強い雨が予想される土曜の明け方にのんびり出発し、雨が収まった頃に釣りを開始することに。となると、日曜は目一杯釣りをしたいので、急遽月曜日を夏休み第一号にしました。

出発の土曜日は、Sさんの家に4時に迎えに行くことと約束していたのですが、早く寝たのが裏目に出て、1時には目がパッチリ！どうしても寝られないので、鮎のビデオを見て時間を潰す。こんなことならもっと早く出発すれば良かった・・・実はSさんも同じだったとのこと。やっぱり、山形初釣行は気が高まるものです(笑)。さて、土砂降りの中、国道6号を北上して、名取→秋保→作並→東根経由で国道13号に出て舟形町まで北上のルート。片道250km。早朝なので約5時間の道のりです。行きは一般道オンリー、帰りは相馬から高速で帰るのですが、日中なので所要時間は同じくらいになります。

9時に舟形町に到着し、いつもの[小国川観光](#)に立ち寄り、年券とオトリを購入。すると、「がんばるめがみちゃん 応援キャンペーン」というのをやっていて、年券とオトリ合わせて1万円を支払うと、小国川観光で使用できる商品券3千円分を頂きました。この券は、購入した店でしか使えないようですが([詳しく舟形町HP](#))、オトリ代にも使えるので、かなりラッキーな商品券です。

さて、最初のポイントですが、Eさん情報だと上流で良い思いをしたとのことでしたが、まずは、小国川の状況を把握するために、定番の長沢堰堤に向かいます。到着すると、雨の中、すでに3人ほどが竿を出しています。それよりも、川が変わったことにビックリ！昨年大雨で変わったのか？それとも人災か？良くわかりませんが、堰堤から流れが二つに分かれているところは昨年までと同じような感じですが、二つの流れが合流するあたりからはかなり平坦になった感じ。石はある程度入っているようなので、まずは、合流から下で開始することにします。思ったよりは流れが強いので、最初から1号玉を付けて、瀬脇を探ると、開始早々に小国川らしい小気味良い当たり。抜くと15cmほどの小ぶりな鮎が飛んできました。その後も同じような感じで釣れるのですが、後は12～13cmほどのチビ鮎ばかり。30分で5尾ほど釣ったものの、大会ならまだしも、遊びで相手にするサイズではない。ここで、下流に居たSさんは上流へ移動したので、私は下流を見に行くことにする。下流は以前と同じく広く平坦な流れが続いて、棚の最後で両端が瀬となって下流の淵に落ち込む。左岸側は小石の深い瀬なのであまり得意ではなく、右岸側の段々の瀬に行くと先行者が鮎を掛けているところだ。その上の棚には鮎のハネが見られるので期待して探るも反応なし。今度は、右岸側を上流に向けて観察しながら遡ると結構良さそうなポイントが点在している。ここもじっくり釣れば釣れそうではあ



片道250km。今年も小国川釣行が始まりました。



何時もの小国川観光で、年券とオトリを購入。



がんばるめがみちゃん応援キャンペーン。5千円買うと1500円の商品券が貰えます。年券とオトリで1万円なので3千円分も頂きました。申し訳ないくらいお得です。

るが、釣りを開始したところまで戻り、上流も見に行くことにする。堰堤下の右岸分流は、以前と比べてかなり流れが強くなっており、水量が多いこともあって川を切る状況ではない。平水だとどの程度かは分からないが、面白そうな瀬に変わっていた。もちろん、今回は流心には入っていないと思われたので、瀬脇を釣り下ると、ようやく15cmほどのオトリに使えるサイズが2尾掛かった。時間を見ると約束のお昼なので、車に戻りSさんと合流。Sさんは、まずまずの放流ものサイズが出たとのこと。いずれにしても、今一なので、昼食を挟んで、Eさんが良い思いをした上流を見に行くことにする。まずは瀬見温泉からやや下流の平瀬が続くポイント。ここは解禁日にギラギラやっていて、2時間で20尾くらい釣れたらしい。ところが、駐車場から見渡す限りギラギラはない？それでも解禁日にそれだけ釣れたのなら何とかなるだろうと、Eさんに電話で詳しいポイントを聞いて釣りスタート。早いテンポで広く探り100mほど釣り下ったものの、バラシが一回あったのみで釣れる気配がない。Sさんも同じくノー当たりのようだ。1時間ほどやってギブアップ。そこで、Eさんが良い思いをした上流の別のポイントに向かうことにしました。ここは、瀬見温泉から約2km上流の場所になります。すでに数台の車が止まっていたので、我々は少し上流に歩いて行ってから釣り下ることにしました。水量も多く、上流部ということもあって気温、水温とも厳しい！！まるで春の溪流釣りみたいだ。とても釣れる気がしないが、直ぐにSさんが一尾を掛ける。一応魚は居るようなので、ようやくやる気モードに。流心から徐々に右岸の護岸際にオトリを入れ替えていったところで当たりがあったが、これは残念ながらバレてしまった。気を取り直して、少し上流に引き上げたところで再び当たり。今度は慎重に抜いてゲット。すると、ここから出し掛かりで3連ちゃん。しかも、待望の放流物の20cmクラスだ。水温が低いせいかわりにはしないが、やけに重量感がある。Sさんも良型を掛けたものの痛恨の親子ドンブリをするほど重い。結局、このポイントでは7尾を追加。内塩焼きサイズは5尾ほど釣ることが出来た。Sさんは親子ドンブリが景響して上手く循環しなかったようだ。二人ともあまりの寒さに早々に退散して、一関大橋下流のキャンプポイントに。この日は、我々の他に2組がキャンプのよう。雨の中キャンプを設営して新庄まで買い出しに行った後、若鮎温泉に浸かったのは18時半を周っていました。夜はもちろん、今シーズ初小国川釣行を祝って乾杯です！！

翌朝、疲れとお酒ですっかり熟睡したためか、4時半にはパッチリ起床。夜中も雨が降ったり止んだりのようだったけど、朝は何とか持ちこたえている感じ。気温も相変わらず20℃弱といったところ。雨が無いだけ寒くはないが、水位は平水よりも10cmほど高い感じ。いつもよりはゆっくりの7時にベースキャンプを出発。まずは瀬見温泉の前を見に行くが、ここは水量が多いため釣れそうなポイントが無い。そこで、思い切って最上流の大堀地区の月楯橋を見に行く。ここはSさんが以前良い思いをしたらしい。釣れているためか？釣り人も多い感じ。見たところ岩盤の川相なのであまり得意としないポイントですが、Sさんを信じて橋の所から川に入ることにする。橋の上流には釣り人が一人居たので、その上の右岸からスタ



長沢堰堤下流。かなり変わってしまいました。吉と出るか凶と出るか？



瀬見温泉上流の砂利屋前。冷たい押し強い流れはキツイですが、良型の鮎が応えてくれました。



初日の釣果。ちょっと寂しい。

ート。中州を挟んで二つの流れになっているけど、右岸の方が石底で、左岸は岩盤の深い瀬になっている。当然選ぶのは右岸となるのだけど、これが反応なし。しばらくやったところで、下流のSさんの所に合流するか？上流を見に行くか迷ったのですが、左岸の岩盤の流れの瀬脇に多少の石が見えるので、念のためオトリを入れてみる。すると、意外にもすぐに掛かり、しかも20cmクラスの良型。その後も入れ掛とまではいかないまでも、ポツポツ釣れ、あっという間に5尾。型はいずれも良く、前日のFWからTに竿を替えていて正解でした。釣れるのは茶色に見える岩盤なので、これはパターンか？と思い、上流に行って見ると、同じようなシチュエーションが多数。しかし、その後はパツパツ反応が無くなってしまいました。盛期なら面白いかも。ここで約束の2時間が経ったので、橋の所に戻るとSさんは根掛かりでオトリをロストしてペースにならなかつたとのこと。ポイントも少ないので、昨日良かった瀬見温泉の上流に向かうことに。到着すると、日曜日のためか釣り人も多いため、お昼まで3尾ほど追加してさらに下流に移動することに。

朝、福島から来ていた知人から、昨日20尾ほど釣ったと教えてもらった東長沢に到着。ここは、川自体は変わっていない感じ。昨年良い思いをした駐車場前の瀬に入りたかったけど、一番良いところは先行者が居たのでその少し上流から開始。多分やっているとされる流心に2号玉でオトリを沈めると、小気味良い当たりで15cm位のチビ鮎が掛かってきた。流心に魚が居ることが判ったので、先行者の下流の瀬肩に移動することに。ここは下の棚（深瀬）に落ち込む一番流れが強いところ。盛期は最高に面白い場所です。オトリを通すと一番強い流れはお留守ですが、その周囲のやや緩いところでポツポツとチビ鮎が掛かってきました。下流の深瀬も含め一通り探ったところで、どこに行こうか思案していると、先行者が移動してくれた。釣り始めてから、釣っているポイントをチラチラ観察していたが、対岸の護岸の際まではオトリを通して見えないように見えたので、早速瀬の中段まで移動して、3号玉を付けて護岸際にねじ込む。すると、予想的中！！しかも、天然の一番手と思われる綺麗な18から21cmクラスが釣れます。ただ、瀬の中段までなら浅い方へ誘導して抜けが問題なのだけど、瀬肩で掛けて強引にためるとバラシや親子ドンブリ。FWの感覚だと竿の柔らかさで何とか止まるけど、競技Tだと張りが強すぎのか思ったよりも前に付け糸が切れてしまう。トラブルが無ければもっと釣れたはずですが、この瀬では13尾止まり。それでも期待以上のサイズが揃ったので十分楽しめました。Sさんは、ここでも苦戦のようだったので早めに切り上げて、二日目の宴会突入です。

最終日。本当は帰るだけの予定でしたが朝だけ釣りをすることに。早々に帰り支度をして6時半スタート。この日は、例年の大会エリアを見ておきたいとのことで、私は下流の瀬に入ることに、Sさんは一関大橋の下へ向かう。いつも大会の時期になると爆発する瀬ですが、1週間早いのか？水温が低いのか？全くの無反応。1時間ほどやってオトリが弱ってしまったので、オトリ補給のためベースキャンプに戻ることに。ここで、オトリ缶の前が良さそうな感じなので、試しにオトリを入れてみると、一瞬だ



今年も疲れを癒すのは若鮎温泉。でも、風呂以外のマスク着用は守りましょう！



焼く物は大きくないのですが、寒さを凌ぐため串焼き炉端に点火です。



最上流の月楯橋上流の流れ、この岩盤で釣れました。



東長沢の流れ。この一番早いところに3号玉で楽しい釣りが出来ました。

け入れ掛かり。4尾の良型が釣れてきました。これならこの周辺で数が伸ばせると思ったのですが、どういわけかそれっきり。これで、2020年の小国川初釣行は終了となりました。Sさんは大橋下で好反応だったようで、次回の楽しみができました。

タックル	
竿	FW90、競技T90
水中糸	ランプレミアム004号
下付け糸	フロロ0.3号
ハリス	1.0号
針	マルチ6.5号4本針



## 参考

釣りの様子は雨で撮れませんでした。長沢堰堤下流の様子を参考まで[youtube にアップしました。](#)

今回の釣果。11~21 cm。平均18 cm くらいです。  
一応初塩焼きできました。